

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号  
**実用新案登録第3147678号**  
**(U3147678)**

(45) 発行日 平成21年1月15日(2009.1.15)

(24) 登録日 平成20年12月17日(2008.12.17)

(51) Int.Cl. F I  
**A O 1 K 97/00 (2006.01)** A O 1 K 97/00 Z  
**A 4 1 D 13/00 (2006.01)** A 4 1 D 13/00 Z

評価書の請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 実願2008-7514 (U2008-7514)  
 (22) 出願日 平成20年10月27日(2008.10.27)

(73) 実用新案権者 508321351  
 株式会社 オレンジブルー  
 東京都新宿区天神町8番地 神楽坂Uビル  
 7階  
 (74) 代理人 100084984  
 弁理士 澤野 勝文  
 (74) 代理人 100094123  
 弁理士 川尻 明  
 (72) 考案者 竹 井 英 一  
 埼玉県朝霞市本町一丁目25番16号

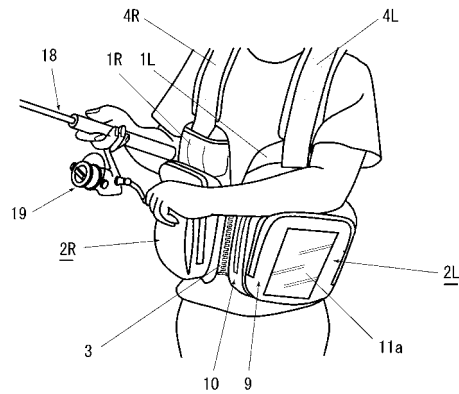
(54) 【考案の名称】 釣り用ベスト

(57) 【要約】

【課題】キャストとリトリブを繰り返すルアー釣りなどにおいて、ロッドをホールドする腕やリーリングを行う腕に疲労が蓄積したり、ヒットした魚の引きによってロッドのホールディングやリーリングが困難になることを防止できる釣り用ベストを提供する。

【解決手段】釣り用ベストの右前身頃1 Rもしくは左前身頃1 Lの少なくとも一方に設けた腰ポケット2 Lが、その上部に肘を載せて腕を休めることが可能な幅と奥行を有するボックス型のアームレストに形成されている。

【選択図】 図3



## 【実用新案登録請求の範囲】

## 【請求項 1】

釣り人が魚釣りの際に着用する釣り用ベストにおいて、右前身頃もしくは左前身頃の少なくとも一方に設けた腰ポケットが、その上部に肘を載せて腕を休めることが可能な幅と奥行を有するボックス型のアームレストに形成されていることを特徴とする釣り用ベスト。

## 【請求項 2】

前記腰ポケットが、厚手のナイロン生地でボックス型の形状に縫製されると共に、当該腰ポケットに、その上部に肘を載せたときに加わる荷重に抗して前面部の定形性を保持する保形部材が付設されている請求項 1 記載の釣り用ベスト。

## 【請求項 3】

前記腰ポケットが、各々ファスナーで開閉される同一高さの前袋と後袋とを有するダブルポケットに形成され、前記保形部材が、前記前袋の前面部と後面部に取り付けられたプラスチック製のセミハードな板体で形成されている請求項 2 記載の釣り用ベスト。

## 【請求項 4】

前記板体が、前記前袋の前面部や後面部と略同一サイズに形成された厚さ約 0.5 ~ 1.0 mm のポリエチレン板で成る請求項 3 記載の釣り用ベスト。

## 【請求項 5】

前記腰ポケットの上部のサイズが、幅約 140 ~ 160 mm、奥行約 110 ~ 130 mm に形成されている請求項 1、2、3 又は 4 記載の釣り用ベスト。

## 【請求項 6】

前記腰ポケットの上部に、その上部の強度を補強する皮革製又は合成皮革製の補強用パットが縫着されている請求項 1、2、3、4 又は 5 記載の釣り用ベスト。

## 【請求項 7】

右前身頃、左前身頃および後身頃の内部に救命用のフロートが装填されると共に、それら右前身頃、左前身頃および後身頃を身体の胴部に締め止めるウエストハーネスベルトが設けられている請求項 1、2、3、4、5 又は 6 記載の釣り用ベスト。

## 【考案の詳細な説明】

## 【技術分野】

## 【0001】

本考案は、釣り人が魚釣りの際に釣針やルアー、フライ、ハリス、オモリ、仕掛け等の各種タックルを装備するために着用するベストに関する。

## 【背景技術】

## 【0002】

この種のベストとしては、例えば、海釣り用のマリンベスト、投げ釣り用のキャストイングベスト、水中に立ち込んで釣るために着丈を短くしたウェーディングベストあるいはショートベスト、救命胴衣の機能を有するライフジャケット、救命用のフロートを備えたフロートイングベストなどがあるが、これらを総じて、釣り用ベストあるいはフィッシングベストと称している。

## 【0003】

釣り用ベストは、その前身頃に胸ポケットと腰ポケットを設けたものが一般的であるが、バスフィッシングに使用するルアー釣り用ベストなどは、胸ポケットを設けず、腰ポケットのみを設けたものも多い。図 4 に示す釣り用ベストは、「ルアー釣り用バッグ」と称するベストであって、当該ベストも、右前身頃 31R と左前身頃 31L に、ルアーなどのタックルを収納する腰ポケット（バッグ）32R、32L のみが設けられ、胸ポケットは設けられていない。

## 【0004】

また、図 4 の釣り用ベストは、右前身頃 31R と左前身頃 31L が、左右一对の肩掛けベルト 34R、34L を介して後身頃 35 と一体化されると共に、右前身頃 31R と左前身頃 31L との間に両者を互いに分離 / 連結するファスナー 33 が設けられ、その右前身頃 31R と左前身頃 31L に設けられた腰ポケット 31R、31L は、高さが大小異なる後

10

20

30

40

50

側収納部 36 と前側収納部 37 とで形成されて、それら後側収納部 36 と前側収納部 37 に、夫々その上部及び左右側部の三方を開閉する三方ファスナー 38、39 が設けられた構造となっている（特許文献 1 参照）。

【特許文献 1】特開平 10 - 201405 号公報

【0005】

ところで、ルアー釣りは、ロッド（釣竿）を振ってルアーをポイントに投入するキャストと、ルアーが着水してからリールでラインを巻き取ってルアーを回収するリトリーブとを長時間にわたって何度も繰り返すので、非常に体力を消耗する。特に、キャスト後にロッドを立てたり寝かしたりしてワームやラバージグ等のルアーをボトム（水底）から浮かせては落とし込む動作を繰り返すリフト・アンド・フォールや、メタルジグ等のルアーを垂直に落とし込み、ロッドを上下に振ってアクションを付けるパーチカル・ジギングや、ロッドの先端を小刻みに震わせて水中のワームに微妙なアクションを与えるシェイキング等のロッド操作を頻繁に繰り返すと、ロッドをホールドする腕に疲労が蓄積してロッドの操作やホールドイングが苦痛になることがある。

10

【0006】

また、リールのハンドルを回してラインを巻き取るリーリングを行う腕にも疲労が蓄積して、そのリーリング操作が苦痛になることがある。また、ルアーに大魚がヒットすると、その魚の強い引きによって、ロッドのホールドイングが困難になったり、リーリング操作が円滑に行えなくなることもある。

20

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0007】

本考案は、ロッドの操作やホールドイング、リーリングを行う腕を休ませて、その腕に疲労が蓄積することを防止できると同時に、その腕を確りと固定させて、ロッドの操作やホールドイング、リーリングを容易に行うことができ、ヒットした魚の引きによってロッドのホールドイングやリーリングが困難になることも防止できる釣り用ベストを提供することを技術的課題としている。

【課題を解決するための手段】

【0008】

上記課題を解決するために、本考案は、釣り人が魚釣りの際に着用する釣り用ベストにおいて、右前身頃もしくは左前身頃の少なくとも一方に設けた腰ポケットが、その上部に肘を載せて腕を休めることが可能な幅と奥行を有するボックス型のアームレストに形成されていることを特徴とする。

30

【考案の効果】

【0009】

本考案の釣り用ベストは、ボックス型のアームレストに形成された腰ポケットの上部に肘を載せて、ロッドの操作やホールドイング、リーリングを行う腕を休めることができるので、その腕に疲労が蓄積してロッドのホールドイングやリーリングが苦痛になることを防止ことができ、また、腰ポケットの上部に肘を載せて腕を固定することができるので、ロッドの操作やホールドイング、リーリングを容易に行うことができ、ヒットした魚の引きによってロッドのホールドイングやリーリングが困難になることも防止できるという効果がある。

40

【考案を実施するための最良の形態】

【0010】

本考案に係る釣り用ベストの最良の実施形態は、右前身頃もしくは左前身頃の少なくとも一方に設けた腰ポケットが、厚手のナイロン生地で W（幅）約 140 ~ 160 mm × D（奥行）約 110 ~ 130 mm × H（高さ）約 220 ~ 240 mm のサイズを有するボックス型の形状に縫製されると共に、その上部に肘を載せたときに加わる荷重に抗して前面部の定形性を保持する保形部材が付設されることにより、その上部に肘を載せて腕を休めることができるボックス型のアームレストに形成されている。

50

## 【 0 0 1 1 】

また、腰ポケットは、各々ファスナーで開閉される同一高さの前袋と後袋とを有するダブルポケットに形成されて、その前袋の前面部と後面部に夫々セミハードなプラスチック製の板体で成る保形部材が取り付けられている。また、その保形部材となる板体は、前袋の前面部や後面部と略同一サイズを有する厚さ約 0.5 ~ 1.0 mm のポリエチレン板で形成されている。また、腰ポケットの上部は、その幅と奥行が肘を載せて腕を休めたり固定するのに最適なサイズ ( W × D : 約 140 ~ 160 mm × 約 110 ~ 130 mm ) に形成されると共に、その上部の強度を補強する皮革製又は合成皮革製の補強用パットが縫着されている。

## 【 0 0 1 2 】

更に、右前身頃、左前身頃および後身頃の内部に発泡ポリエチレン等の浮力材で成る救命用のフロートが装填されると共に、それら右前身頃、左前身頃および後身頃を身体の胴部に締め止めるウエストハーネスベルトが設けられている。

## 【 実施例 】

## 【 0 0 1 3 】

図 1 は本考案に係る釣り用ベストの一例を示す正面図、図 2 はそのベストの要部の構成を示す図、図 3 はそのベストの使用状態を示す図である。

## 【 0 0 1 4 】

本例の釣り用ベストは、ルアー釣りに好適なベストであって、その基本構造は、右前身頃 1 R と左前身頃 1 L に、摩擦強度の高いナイロントッサーやナイロンツイル ( デュボン社の商品名 ) 等を素材とする厚手のナイロン生地で縫製された腰ポケット 2 R、2 L が設けられ、右前身頃 1 R と左前身頃 1 L との間に、両者を互いに分離 / 連結するファスナー 3 が設けられ、右前身頃 1 R と左前身頃 1 L が、夫々左右の肩掛けベルト 4 R、4 L を介して後身頃 5 と一体化された構造となっている。

## 【 0 0 1 5 】

また、本例のベストは、右前身頃 1 R、左前身頃 1 L および後身頃 5 を形成する表地と裏地との間に、合計約 8 K g の浮力を有する分量の発泡ポリエチレンあるいは発泡ポリスチレン、PVC 等の浮力材で成る救命用のフロート ( 図示せず ) が装填されると共に、当該フロートが装填された右前身頃 1 R、左前身頃 1 L および後身頃 5 を身体の胴部に締め止めて固定するウエストハーネスベルト 6 が設けられて、フローティングベストないしライフジャケットに形成されている。

## 【 0 0 1 6 】

そして、左前身頃 1 L に設けた腰ポケット 2 L が、厚手のナイロン生地で W ( 幅 ) 約 140 ~ 160 mm × D ( 奥行 ) 約 110 ~ 130 mm × H ( 高さ ) 約 220 ~ 240 mm のサイズを有するボックス型の形状に縫製されると共に、その上部に肘を載せたときに加わる荷重に抗して前面部の定形性を保持するセミハードなプラスチック製の板体で成る保形部材 11 a、11 b 及び 11 c が付設されることにより、その上部に肘を載せて腕を休めることができるボックス型のアームレストに形成されている。

## 【 0 0 1 7 】

また、腰ポケット 2 L は、各々止水ファスナー 7、8 で開閉される同一高さの前袋 9 と後袋 10 とを有するダブルポケットに形成されて、その前袋 9 の前面部と後面部に保形部材 11 a ~ 11 c が取り付けられている。

## 【 0 0 1 8 】

各保形部材 11 a ~ 11 c は、低密度ポリエチレンで成形された厚さ約 0.5 ~ 1.0 mm のポリエチレン板を前袋 9 の前面部や後面部と略同一サイズにカットして成るもので、保形部材 11 a が、腰ポケット 2 L の前面部でもある前袋 9 の前面部にミシンで縫い付けて取り付けられ、保形部材 11 b が、前袋 9 の前面部の裏面に対して面ファスナー 12 で脱着可能に取り付けられ、保形部材 11 c が、前袋 9 の後面部に対して面ファスナー 13 で脱着可能に取り付けられている。

## 【 0 0 1 9 】

10

20

30

40

50

腰ポケット 2 L の上部は、幅約 140 ~ 160 mm、奥行約 110 ~ 130 mm のサイズに形成されると共に、その上部の強度を補強する合成皮革製の補強用パット 14 が止水ファスナー 7、8 の部分を避けて縫着されている。また、腰ポケット 2 L の前袋 9 に設けられた止水ファスナー 7 は、前袋 9 の上部と左右側部を開閉する三方ファスナーとなっており、後袋 10 に設けられた止水ファスナー 8 は、後袋 10 の上部と右側部を開閉する二方ファスナーとなっている。

【0020】

なお、ベストの右前身頃 1 R に設けた腰ポケット 2 R は、止水ファスナー 15 で上部と左側部の二方が開閉されるファスナーポケット 16 の前面部に、上部を開放したオープンポケット 17 が形成された構成となっている。

10

【0021】

以上が、図 1 ~ 図 3 に示す釣り用ベストの構成であり、次に、その作用効果について説明する。例えば図 3 の如く、ルアーロッド 18 を右手で持って、リール 19 のハンドルを左手で回す場合は、リーリングを行う左腕の肘を腰ポケット 2 L の上部に載せて、その腕を休めることができると同時に、その腕を腰ポケット 2 L の上部に固定して円滑なリーリングを行うことができる。また、リール 19 のハンドルが左右逆側に取り付けられている場合は、ルアーロッド 18 を左手で持って、リール 19 のハンドルを右手で回すことになるので、この場合は、ルアーロッド 18 をホールドする腕を休ませることができる。

【0022】

また、腰ポケット 2 L は、その上部に肘を載せたときに加わる荷重に抗してその前面部の定形性を保持する保形部材 11 a ~ 11 c が付設されているので、図 3 の如く、肘を載せたときに加わる荷重によって上部に凹みが生ずるものの、その荷重によって押し潰されることはない。すなわち、ナイロン生地でボックス型に縫製された腰ポケット 2 L は、その上部に肘を載せると、その上部に凹みが生ずるが、保形部材 11 a ~ 11 c によって前面部の定形性が保持されるので、押し潰されることはない。

20

【0023】

また、保形部材 11 a ~ 11 c によって腰ポケット 2 L の前面部の定形性を保持すれば、図 3 の如く、腰ポケット 2 L の上部に載せた肘と前腕部が、その上部に生ずる凹みにスッポリ納まって、腰ポケット 2 L から脱落することが防止されるので、ロッドの操作やホールディング、リーリングを行う腕を確りと固定させることができる。

30

【0024】

また、腰ポケット 2 L を設けた左前身頃 1 L は、その内部に装填された発泡ポリエチレン等で成るフロートによって定形性が付与されているので、その左前身頃 1 L によって腰ポケット 2 L の後面部の定形性も保持され、更に、その左前身頃 1 L が右前身頃 1 R および後身頃 5 と共にウエストハーネスベルト 6 で身体の胴部に締め止められることによって、腰ポケット 2 L が身体の胴部に固定される。したがって、腰ポケット 2 L は、ロッドの操作やホールディング、リーリングを行う腕を確りと固定させることができる。

【0025】

なお、本例の釣り用ベストは、その左前身頃 1 L に、ボックス型のアームレストを成す腰ポケット 2 L が設けられているが、これに限らず、腰ポケット 2 L と同様の構成を有する腰ポケットを右前身頃 1 R に設けたものであってもよいし、本考案の釣り用ベストは、右前身頃と左前身頃の双方にボックス型のアームレストを成す腰ポケットを設けて、ロッドをホールディングする腕と、リーリングする腕とを双方共に休めることができるようにしたものであってもよい。

40

【産業上の利用可能性】

【0026】

本考案は、釣り用ベストに従来にない新規な機能を付与してその有用性を高めるものである。

【図面の簡単な説明】

【0027】

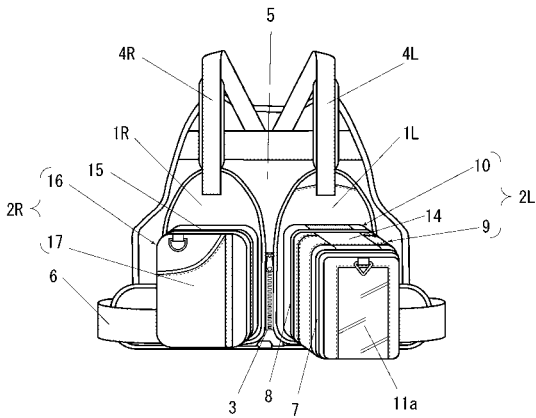
50

- 【図1】本考案に係る釣り用ベストの一例を示す正面図
- 【図2】本考案に係る釣り用ベストの要部の構成を示す図
- 【図3】本考案に係る釣り用ベストの使用状態を示す図
- 【図4】従来の釣り用ベストを示す正面図
- 【符号の説明】

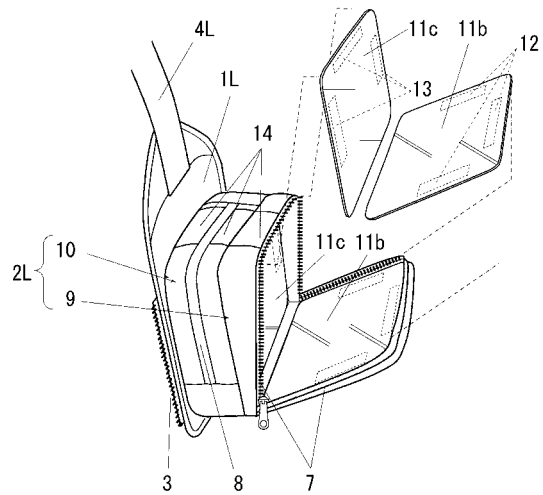
【0028】

- 1 R 右前身頃
- 1 L 左前身頃
- 2 R 腰ポケット
- 2 L 腰ポケット 10
- 3 ファスナー
- 4 R 肩掛けベルト
- 4 L 肩掛けベルト
- 5 後身頃
- 6 ウエストハーネスベルト
- 7 止水ファスナー
- 8 止水ファスナー
- 9 前袋
- 10 後袋
- 11 a 保形部材 20
- 11 b 保形部材
- 11 c 保形部材
- 14 補強用パット

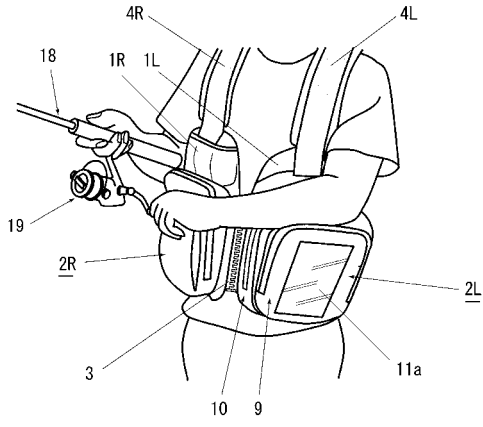
【図1】



【図2】



【 図 3 】



【 図 4 】

